

記者発表(資料配布)				
月/日 (曜日)	担当課	電話	発表者 (担当課長名)	配布先
2/27 (木)	兵庫県立大学 地域貢献課	078 794-6653 (直通)	自然・環境科学研究所 准教授 頼末 武史 (地域貢献課長 後藤 綾一)	岡山大学記者クラブ 文部科学記者会 科学記者会 県教委記者クラブ 県政記者クラブ 三田市政記者クラブ
	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 559-2001 (代表)	事業推進部長 八木 剛 (課長 佐野 知彦)	

**船舶に固着して燃費の悪化を引き起こすフジツボに対する
新たな付着阻害剤を発見！
～毒性を示さない環境に優しい防汚塗料の開発に期待～**

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域（理）の高村浩由准教授、門田功教授、岡山大学異分野基礎科学研究所の田中健太助教、兵庫県立大学自然・環境科学研究所の頼末武史准教授（兼 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）らの研究グループは、有機化合物であるザイレミンがフジツボの付着を阻害する効果を持つことを発見しました。本研究成果は、2025年2月7日に学術誌「Chemistry & Biodiversity」のオンライン版に掲載されました。

付着生物は海洋産業界において多大は被害を及ぼすことから、汚損生物と呼ばれています。これら付着生物による被害の防止は、解決すべき社会的課題の1つです。今回、合成したザイレミンおよびその関連化合物が、タテジマフジツボの付着を阻害する効果を持ち、かつ毒性を示さないことを発見しました。今後、これらの化合物を用いることで、効果的で安全な生物や環境に優しい新たな防汚塗料が開発されることが期待されます。

記

1 研究詳細

別添資料のとおり

2 論文情報

(1) タイトル

Chemical Synthesis and Biological Effect on Xylem Formation of Xylemin and Its Analogues

邦題名「ザイレミンおよびその類縁体の化学合成と木部形成に対する生物学的効果」

(2) 著者名

Hiroyoshi Takamura, Hiroyasu Motose, Taichi Otsu, Shiori Shinohara, Ryugo Kouno, Isao Kadota, Taku Takahashi

(3) 雑誌・号・doi

DOI : 10.1002/ejoc.202000322

3 問い合わせ先

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 (理)

准教授 高村 浩由

(電話番号) 086-251-7839

(メール) takamura@cc.okayama-u.ac.jp

4 同時資料提供先

岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

三田市政記者クラブ